

“政策2003”

政策と一般質問

選挙で掲げた政策(公約)を実現するため議会において以下のような質疑を行い、その達成に向け全力を尽くしてきました。

行政改革の徹底と透明性の確立

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| ■住民にわかりやすい行政評価制度実現のために | 平成15年第3回定例会 |
| ■ISO(9000・14001シリーズ)の認証取得と入札・契約制度について | 平成15年第4回定例会 |
| ■財政状況に関する説明責任を果すためバランスシート等の作成を | 平成16年第1回定例会 |
| ■情報公開のあり方について | 平成16年第2回定例会 |
| ■収支均衡型財政へ転換を図るための施策について | 平成16年第3回定例会 |
| ■緊急行動計画の目標達成は可能か | 平成16年第4回定例会 |
| ■「緊急行動計画」に基づく財政再建は可能か | 平成17年第3回定例会 |
| ■狛江市定員適正化計画と人事管理について | 平成17年第4回定例会 |
| ■庁用自動車の管理について | 平成18年第1回定例会 |
| ■電子自治体の推進の行政改革について | 平成18年第2回定例会 |
| ■公文書の保存について | 平成18年第3回定例会 |
| ■「市場化テスト」と行財政改革の推進について | 平成18年第3回定例会 |
| ■「電子行政推進」情報化グランドデザインの策定について | 平成18年第3回定例会 |

未来を担うひとづくり

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| ■第二・第七小学校の統廃合後の新校開設について | 平成15年第2回定例会 |
| ■特色ある学校づくりと多様な選択の自由を親や子どもたちにも | 平成15年第3回定例会 |
| ■子どもたちの健康に配慮したシックスクール対策について | 平成15年第4回定例会 |
| ■公正かつ適正な教科書の採択について | 平成17年第1回定例会 |
| ■～次世代を育む～ 少子化対策について | 平成18年第4回定例会 |
| ■～未来を担う人材育成～ 狛江の教育について | 平成19年第1回定例会 |

健康なまちづくり

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| ■住民が安心して暮らしが出来る災害に強いまちづくりについて | 平成15年第3回定例会 |
| ■安心・安全なまちづくりについて | 平成16年第2回定例会 |
| ■日常生活に不可欠な道路の整備について | 平成16年第3回定例会 |
| ■安心・安全なまちづくりについて Part-Ⅱ | 平成16年第4回定例会 |
| ■危機管理マニュアルの策定について | 平成17年第2回定例会 |
| ■地域防災計画の見直しー緊急時への対応は | 平成17年第3回定例会 |
| ■～あらゆるリスクや災害から市民をまもる～ 危機管理について | 平成19年第1回定例会 |

環境共生都市“狛江”を目指します

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| ■御台橋の親柱の保存について | 平成15年第2回定例会 |
| ■さらなるごみ減量化に向けて | 平成16年第1回定例会 |
| ■「ごみ有料化」歳入増加分は環境対策費に使用すべき | 平成16年第4回定例会 |
| ■京都議定書発効・狛江市の環境対策は | 平成17年第1回定例会 |
| ■環境に配慮したまちづくりについて | 平成17年第2回定例会 |
| ■「多摩川水系野川流域河川整備計画」について | 平成17年第3回定例会 |
| ■多摩川緑地公園グランドの管理と運営について | 平成18年第1回定例会 |
| ■ごみ有料化とさらなる減量対策について | 平成18年第2回定例会 |
| ■～チーム・マイナス6%～ 公共施設の省エネルギー対策について | 平成18年第4回定例会 |
| ■～狛江のシンボル～ 弁財天池緑地保全地域の有効活用について | 平成18年第4回定例会 |

市民と協働のまちづくりを進めます

■NPO法人の育成と支援について

平成17年第4回定例会

地域経済の活性化

■農業振興計画第4次実施計画及び第2次実施計画の策定について

平成17年第2回定例会

■商業振興政策について

平成17年第4回定例会

一般質問以外でも、予算特別委員会・決算特別委員会をはじめ各定例会の議案審議の際、時局に応じた課題について質疑を展開しています。“未来の泊江”を築いていくため、新たな目標「政策“2007”」を掲げこれからも課題解決に向け一歩ずつ努力していきます。